

パッケージ3

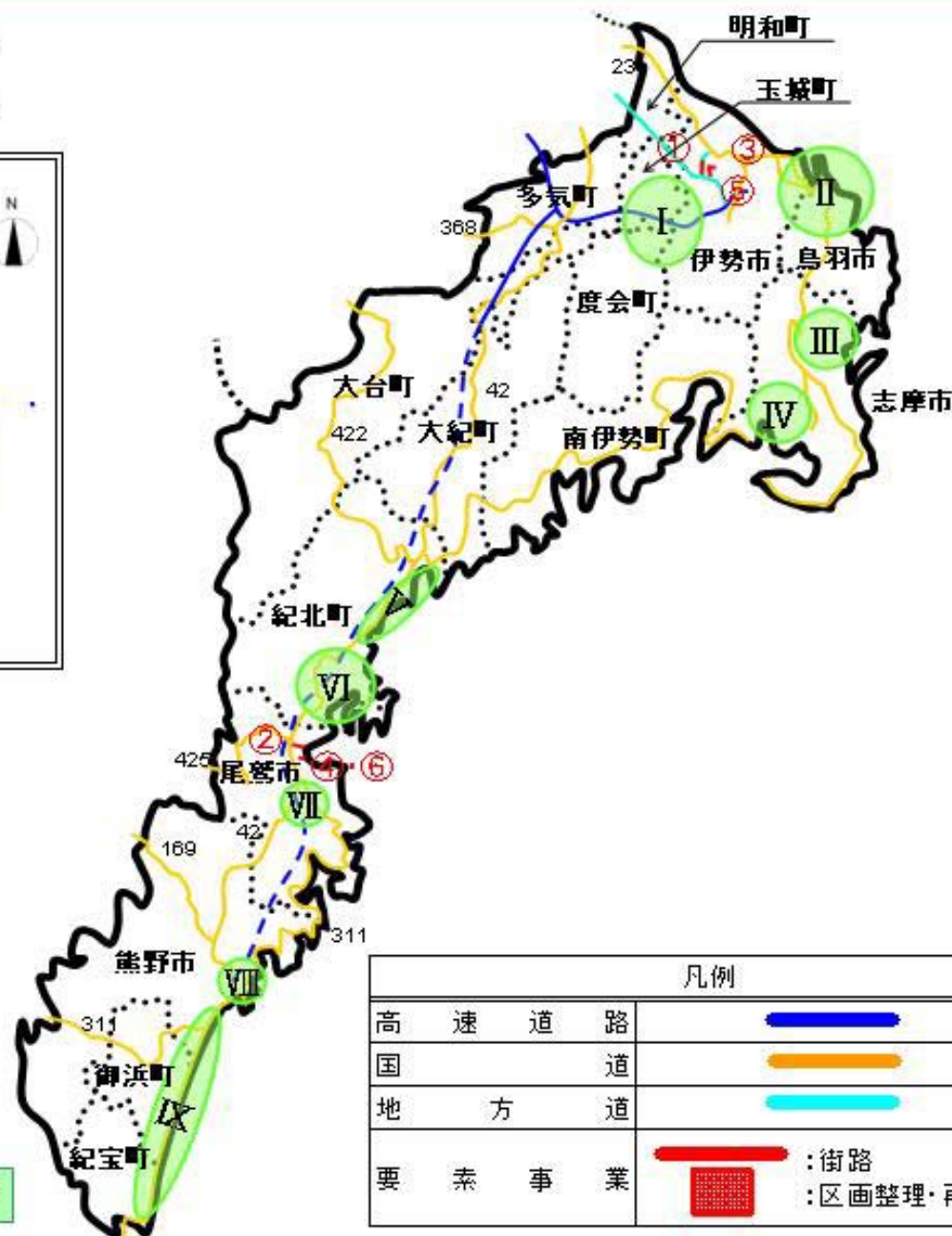
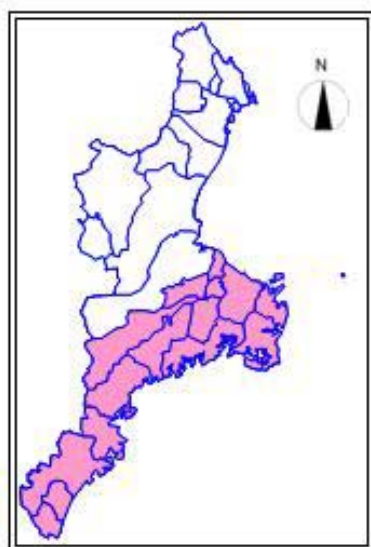
伊勢志摩・東紀州地域の観光振興を支援する街路整備

事業の目的・・・国際的な観光エリアとしての施設整備が進む伊勢志摩地域、世界遺産熊野古道を擁する東紀州地域を訪れる観光客は、今後ますます増加することが予想されるため、交通結節点と観光施設等を連絡する街路の整備により地域内の交通円滑化の向上を図ります。

事業の効果・・・

国際的な観光資源を活かし、人・文化・自然との交流による地域・観光産業の活性化や観光客等へのサービス水準の向上が図られます。

対象エリア



パッケージ3の要素事業

No	路線名
①	(都) 秋葉山高向線外1線
②	(都) 茶地岡向井線(坂場工区)
③	(都) 日赤神田線
④	(都) 尾鷲港新田線
⑤	(都) 八日市場高向線外1線
⑥	(都) 尾鷲港新田線

	I : 伊勢神宮(外宮・内宮)
	II : 鳥羽・二見(水族館・展望台等)
	III : 志摩スペイン村
	IV : 合歓の里
	V : 熊野灘臨海公園
	VI : 馬越峠(熊野古道)
	VII : 熊野古道センター
	VIII : 松本峠(熊野古道)
	IX : 浜街道(熊野古道)

■「成果目標」について...

成果目標とは、街路整備が完了（部分供用、完成供用）した場合に、期待される効果を時間などの数値で設定したものであり、事前に目標を設定し、その達成度を事後に評価します。

パッケージ3は、6箇所の要素事業で構成され、これらの都市計画道路の整備により、自動車等で通行した際に要する時間（移動時間）を短縮することを目標としており、この移動時間を「アウトカム指標」としています。

パッケージ3での現況値及び目標値は下記のとおりであり、現況では移動するのに約11分必要としていたのが、H19には約6分の移動となり、約5分の時間短縮が図れます。

現況値 (H16)	中間目標値 (H17末)	最終目標値 (H19)
11.0分	10.5分	6.4分

■「中間評価」について...

中間評価は当初に設定したH17年度末時点での目標（値）に対して、実績（値）がどの程度に達しているかを検証するものです。

パッケージ3の中間目標に資する要素事業は1箇所あり、「尾鷲港新田線」が部分供用し、目標を達成することが出来ました。

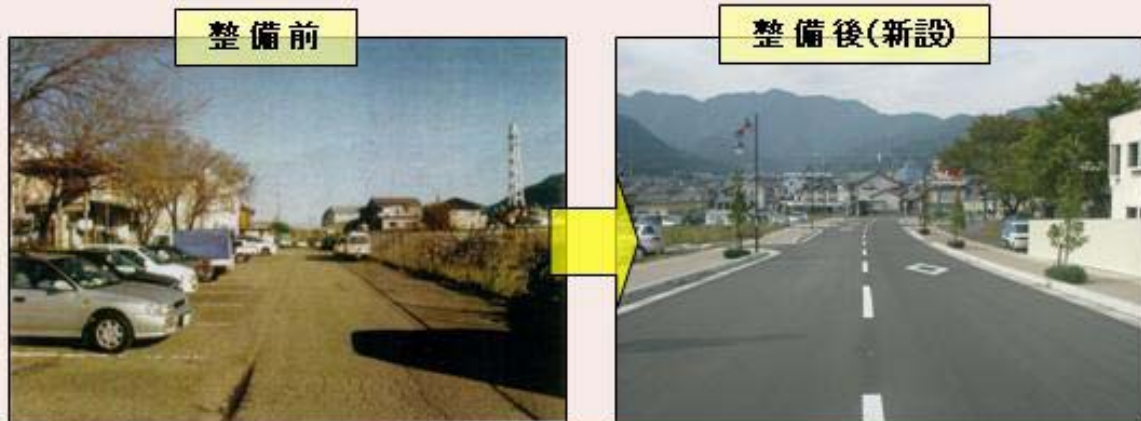
現況値 (H16)	中間値(H17末)	
	目標	実績
11.0分	10.5分	10.5分

目標達成！

■「整備状況」について...

「部分供用箇所」

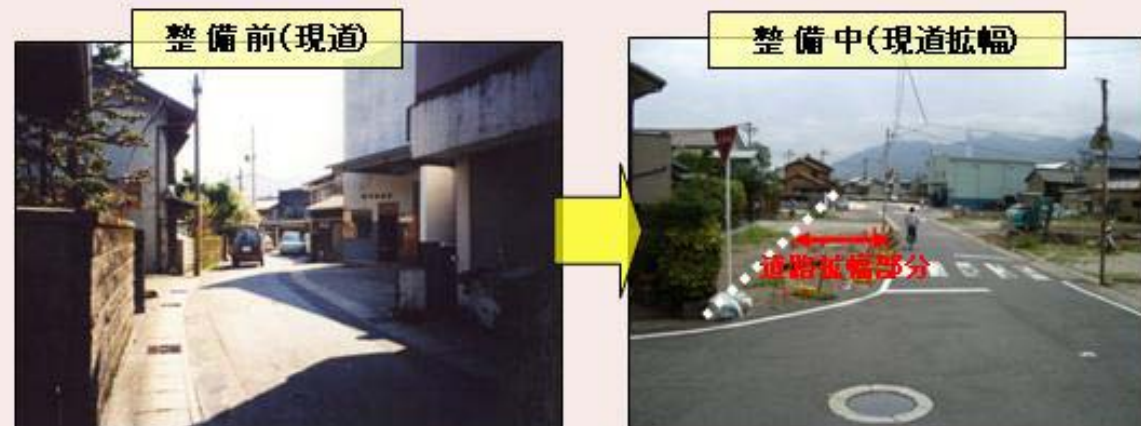
④ (都)尾鷲港新田線 尾鷲市瀬木山町 L=0.4km (尾鷲市)



熊野古道と交差する街路整備をまちづくりと一体的に行い、憩いの空間を創出

「整備中箇所」

② (都)茶地岡向井線 尾鷲市坂場町～宮ノ上町 L=0.4km (三重県)

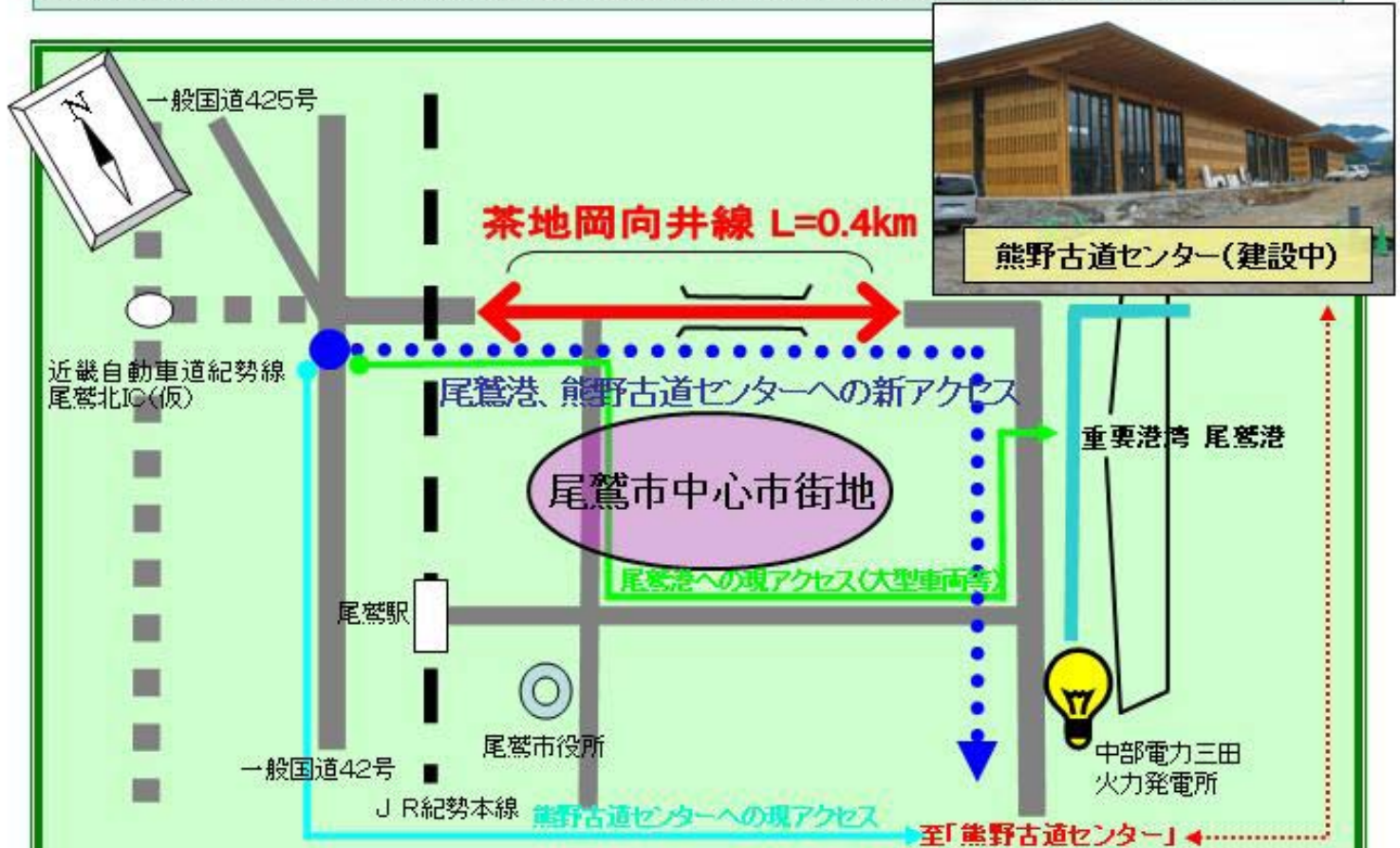


大型車通行困難な現道を拡幅することにより、市街地内の交通円滑化
国道42号から尾鷲港、熊野古道センターへのアクセスの強化

整備事例

都市計画道路 茶地岡向井線(坂場工区) 尾鷲市坂場町～宮ノ上町

事業の目的：本路線は国道42号を起点に尾鷲港、中部電力火力発電所等を経由し、熊野古道センターへアクセスする主要幹線道路であり、緊急輸送道路でもあります。しかし、大型車両の迂回を余儀なくされる狭小区間があり、都市活動の支障となっているため、全線の2車線化を行い円滑な都市交通の確保を図ります。



茶地岡向井線による主な整備効果予想

- ◎尾鷲港、熊野古道センターへのアクセス向上（現ルートより約2分短縮）
- ◎両側歩道付きの道路整備により安全・安心な歩行空間の確保
- ◎東南海地震時の避難活動、物資の輸送を支援（緊急輸送道路）
- ◎高速道路ICへのアクセス向上（近畿自動車道紀勢線尾鷲北IC）